



会長 新任 挨拶

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会長 菊池英岳



5月29日に開催された県の総会で行森会長からバトンを引き継いだ菊池英岳といいます。所属は県立江刺病院で、年齢的に任期途中で満期を迎えてしまいます。昨年度から日臨技の理事も務めさせてもらい、全国的には理事と会長を兼ねているところが大多数なので、嫌な予感がしましたが的中してしまいました。

昨年からの新型コロナウイルスの猛威を奮い、これまで普通にできていたものができなくなるなど色々な活動が制限されました。技師会においても多くの研修会等の行事が中止せざるを得ない状況でしたが、対面式からウェブに切り替えるなど臨機応変な対応で例年通りではありませんが、いくらかは実施することができました。

その様な中、今年度は北日本支部学会を岩手が担当することになり、行森学会長を中心にメインテーマの「融和と協調」を掲げ、一般演題募集と企画立案に役員一同奔走しているところです。学会は会員一人一人が意識を高め参加することが成功の鍵とはなりますので、多くの結集をお願いします。

また、日臨技では「医師の働き方改革」の名のもとにタスクシフト/シェアの推進に向け全会員を対象に都道府県単位で開催する講習会の展開を計画しています。これを前倒しして後押しするかのように、最近ではワクチン接種者要員として着目され、いくつかの都道府県では講習実習が行われ、接種者として活躍していることも報告されています。これまで以上に世間・マスコミから着目されることは喜ばしいことですが、同時に責任も重くのしかかってきますので気構えを持って臨んでいきましょう。

その他にも、臨床検査技師養成所教育カリキュラムの見直しに合わせて臨地実習指導者講習会の開催も同時に進められています。岩手県では検査技師養成学校がありませんが、基幹病院を中心に学生が臨地実習に入っています。タスクシフトなど検査業務が拡大される中で、学校と現場に相違が起らないような環境作りを技師会としても実現に向け取り組むことが重要になってきています。

課題は途切れることなくやってきますが、日常業務を熟しながらなお且つ、役員会員が一丸となって着実に克服して魅力ある技師会活動を皆さんと築き上げていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

2021 年度（一社）岩手県臨床衛生検査技師会定時総会 議事録

日時：2021 年 5 月 29 日（土曜日）午後 13 時 00 分～

会場：WEB 開催（岩手医科大学付属内丸メディカルセンター技師研修室から配信）

2021 年度定時総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
5. 総会成立の確認
6. 議事
 - 承認第 1 号 2020 年度事業について
 - 承認第 2 号 2020 年度決算について
 - 承認第 3 号 2020 年度監査報告について
 - 第 1 号議案 2021 年度事業計画（案）について
 - 第 2 号議案 2021 年度予算（案）について
 - 第 3 号議案 2021・2022 年度理事・監事の選任（案）について
7. 総会役員解任
8. 議長退任
9. その他
10. 閉会の辞

【議事録】

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
訂正：P20 中ほどと下から 3 行目のコロナ禍
3. 議長選出 議長 佐藤 政信（北上済生会病院）
事務局より提案され、全会一致で承認
4. 総会役員選出
議事運営委員：高橋 庸一郎（北上済生会病院）
資格審査委員：中沢 和浩（岩手県立千厩病院）
書 記：山崎 勝登志（岩手県立磐井病院）
議事録署名人：千枝 貴幸（岩手医科大学付属病院）
佐藤 和（岩手医科大学付属病院）
5. 総会成立の確認
資格審査委員長より報告
会員 589 名 出席者 33 名 委任状 425 名
以上、出席者と委任状合わせ 458 名で過半数（295 名）を満たしており、総会は成立。

6. 議事

承認第1号 2020年度事業について

○一般経過報告 行森良一 会長

訂正：令和2年度事業

○事業報告

1) 総務部 菊池英岳 副会長

昨年度は会員名簿更新の年だったが、コロナ禍ということもあり発行には至らなかった。

2) 学術部 畠山秀樹 副会長

訂正：P2中ほど3月5日（金）

3) 各研究部門 行森良一 会長

4) 公益事業部 下川波歩 事務局長

5) 生涯教育研修部 宮本祥一 理事

6) 精度管理部・書記・会報部・地区技師会 行森良一 会長

承認第2号 2020年度決算について 高橋一博 常務理事

・収支計算書（2020年4月1日～2021年3月31日）

・収支計算書に対する注記

・財産目録（2021年3月31日現在）

・貸借対照表（2021年3月31日現在）

・正味財産増減計算書（2020年4月1日～2021年3月31日）

承認第3号 2020年度監査報告について 井上幸男 監事

2020年度監査報告書

*以上承認第1号、2号、3号とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された

第1号議案 2021年度事業計画（案）について 行森良一 会長

○事業計画(案)

1) 総務部 菊池英岳 副会長

昨年度できなかった会員名簿の作成を今年度は行いたい。

2) 学術部 畠山秀樹 副会長

3) 各研究部門 行森良一 会長

4) 公益事業部 下川波歩 事務局長

5) 生涯教育研修部 宮本祥一 理事

5) 精度管理部・書記・会報部・各地区 行森良一 会長

第2号議案 2021年度収支予算（案）について 高橋一博 常務理事

2021年4月1日～2022年3月31日収支予算書

委託費支出はレンタルサーバーやホームページの充実のため増やした。

*以上第1号、第2号議案とも、それぞれ賛成多数で議決された

第3号議案 2021・2022年度理事・監事の選任（案）について 下川波歩 事務局長

2021・2022年度理事・監事氏名、所属の提示 画面で共有した。

*以上第3号議案は、賛成多数で議決された。

7. 総会役員解任

議長がすべての議事が終了したことを告げ、総会役員を解任した。

(い わ て)

- 8. 議長解任
- 9. その他
- 10. 閉会の辞

以上議事録に相違ない事を確認しました。

2021 年 5 月 29 日 総会議長 佐藤 政信
議事録署名人 千枝 貴幸 佐藤 和

令和 3 年度 第 1 回理事会議事録

日 時： 令和 3 年 5 月 29 日（土曜日）

場 所： 岩手医科大学付属病院内丸メディカルセンター 2F 技師研修室

現地出席理事： 菊池英岳 畠山秀樹 高橋一博 櫛桁久美 宮本祥一
熊谷正邦 野辺地美幸 中沢和浩 岡田進

Web 出席理事： 藤原教徳 後藤明美

欠席理事 ： 川村将史 千葉拓也 朝岡千佳子 藤倉由規

出席監事 ： 井上幸男 行森良一

事務局長 ： 下川波歩

- 1、開会
- 2、理事、監事自己紹介
- 3、議事
 - 1) 会長・副会長。常務理事の選出について
 - 2) 令和 3 年度、4 年度の役割分担について
 - 3) 北日本支部学会進捗状況について
 - 4) タスクシフティング研修について
 - 5) 各事業部について
 - 6) 事務局体制について
 - 7) その他

4、閉会

議事の経過の要領およびその結果

理事及び幹事全員の同意を得て、招集手続きを省略して理事会を招集し、理事及び幹事全員の同意を得て、理事会を開催した。

1、開会（下川）

本日は理事 15 名のうち、11 名の方々に参加を頂いており、過半数を超えているので定款 38 条の規定により会議が成立していることが報告された。

2、理事、監事の自己紹介

理事の自己紹介

3、議事

1) 会長・副会長・常務理事の選出について

下川波歩事務局長より、定款第25条第2項の規定により「理事のうち1名を会長・2名を副会長、常務理事を2名おくこととされており、その選出は理事の互選による」旨の発言があった。互選の方法については事務局に一任とされた。事務局案として、菊池理事を会長に、畠山理事と高橋理事を副会長に、櫛桁理事と川村理事を常務理事に推薦された。なお、被選任者は席上その就任を承諾のうえ全会一致で承認された。

会長挨拶（菊池）

本日はコロナ禍またお休みのところお集まりいただきありがとうございます。今回新しく会長に就任いたしました。今年度は北日本支部学会、タスクシフト研修会等様々な行事がございますが、与えられた仕事を皆様と力を合わせ成功するよう頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

2) 令和3年度、4年度の役割分担について

役員	氏名	担当	施設名
会長	菊池 英岳	会務全般	岩手県立江刺病院
副会長	畠山 秀樹	会長代行、総務部長	岩手県予防医学協会
副会長	高橋 一博	学術部長	岩手県立中央病院
常務理事	川村 将史	公益事業部長、盛岡地区会長	いわてリハビリテーションセンター
常務理事	櫛桁 久美	会計部長	八角病院
理事	宮本 祥一	生涯教育研修部長、HP 担当	盛岡赤十字病院
理事	千葉 拓也	学術部、精度管理部長	岩手医科大学付属病院
理事	熊谷 正邦	総務、北部地区担当(会長)	岩手県立軽米病院
理事	藤倉 由規	書記、会報	岩手県立久慈病院
理事	野辺地 美幸	総務、中部地区担当(会長)	岩手県立遠野病院
理事	藤原 教徳	書記、会報	岩手県立中部病院
理事	中沢 和浩	総務、南部地区担当(会長)	岩手県立千厩病院
理事	後藤 明美	公益	岩手県立大東病院
理事	岡田 進	総務、三陸地区担当(会長)	岩手県立山田病院
理事	朝岡 千佳子	学術部、精度管理	せいてつ記念病院
事務局長	下川 歩波	事務全般	岩手医科大学付属内丸メディカルセンター
監事	井上 幸男		盛岡赤十字病院
監事	行森 良一		岩手医科大学付属内丸メディカルセンター
会計	千枝 貴幸		岩手医科大学付属内丸メディカルセンター
会計	佐藤 和		岩手医科大学付属内丸メディカルセンター

上記について提案され承認された。

3) 北日本支部学会進捗状況について（下川）

ホームページ作成に関してサイボウズで理事の方々に確認してもらっているが特に修正点がなければ今回の理事会で承認を得てインターネット公開としたい。→了承を得たのでヤマダプランニングにインターネット公開をお願いし6月1日より一般演題の登録を開始する。

各メーカーへの協賛（広告）について募集要項は送付している。2、3日前に75社に送付した。Web広告であれば数に上限はなく研修会のほうも11月1日から30日までのWeb配信ということで、縛りがないので各病院にメーカーの方がみえたときは一声かけてみてください。ヤマダプランニングにコンサルを頼んでいる。予定表を確認すると、5月予定のホームページの公開・メーカーへの資料送付は大丈夫である。今後やらなければならない事として、北日本の各都道県に趣意書を送付することと、特別講演等をそれぞれ担当者で詰めていく必要があること。各部門長には先日Webを介して各部門1演題1時間程度で教育講演のほうを用意してほしい旨を伝えられている。今回ホームページも公開されるのでボケー座等決まっているところには趣意書とお願いの文書を作成し送付する。チーム医療推進協議会の昨年開催された学会動画について現在問い合わせ中であるが7月に開催される理事会まで待っていて欲しい。諏訪部先生の特別講演や部門長のお願いしている教育講演について依頼状とポスターと一緒に渡さなければならない。抄録集には新しい理事と部門長の氏名が掲載される。ポスターに関してホームページ上にはチラシダウンロードがあり、各自印刷可能になっているが、正式なポスター（印刷業者に依頼）が欲しいと言う都道県があれば一般演題募集をお願いする県内の施設用に配布するポスターと一緒に印刷業者に依頼する。各都道県のホームページに掲載してもらうように各事務局にバナーの見本とホームページURLを送付する。

4) タスクシフティング研修について（菊池）

日臨技で作成されたタスクシフティング・シェアに関する厚生労働省主催実施計画案についての説明動画を視聴した。

今回予定されている項目は8項目で、静脈路確保（ヘパリンロック）、超音波に関する造影剤の注入、成分採血に関する行為、CGMに関する行為、検査のための採痰（カニューレ）、直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査・治療における生検、誘発電位がある。基礎研修はWebで各自受講してもらい実技講習（実技動画視聴・手技講習）は各都道府県で実施してもらう。受講は3つのグループに分かれて受講してもらいトータル360分の受講になる。中身についてはおおよその日程が決まってきており、7月30日基礎講習全コンテンツをWebにアップロードする予定である。その後各都道府県開催へと展開していく。まず8月8日に日臨技会館にてシュミレーション研修（日臨技の役員ほか各支部から実技担当者3名ずつ参加。各支部で開催される指定講習会の統括を担ってもらう。動画を撮影し、この動画が各都道府県にまわってくる）を実施してもらい、8月後半、実務担当者講習会として各支部（各都道府県より参加してもらい、後にこの受講者が各都道府県で開催される指定講習会の統括を担ってもらう。支部内定員60名なので北日本支部は一県から7.5名選出することになるが具体的な内容についてはまだ通達がきていない。）で開催してもらう。実務担当者講習会から指定講習会となり参加者の交通費・日当は日臨技で負担するが受講料は各自負担してもらう。受講料は1万円。9月以降都道府県初回指定講習会開催となる。5年間で6万人の終了を想定した予定の開催計画を起している。開催についてはコロナ等の関係でなかなか早期確定にはなっていないが、確定次第案内を出すので了解を頂きたいとのこと。タス

(い わ て)

クシフティング・シェア案の法改正の進捗に関して現在衆議院を通過して参議院で審議されており、今回の通常国会中には議決されるであろうと思われる。法律施行は10月1日からということが確実である。静脈路確保（ヘパリンロック）以外の法令行為に関しては医師会や看護協会に日臨技が講師を依頼しているが、静脈路確保に関しては各都道府県で講師を探して欲しいということだったので岩手県の看護協会に依頼予定である。10月以降の講習会開催予定となるが、今年度は北日本学会が控えているのでなかなか難しいと思われる。予定表では今年度内に2回開催することになっているが、とりあえず11月以降もしくは年明けに開催できれば良い。タスクシフト・シェアに関しては菊池会長が中心となって進めていく。

5) 各事業部について

総務部・学術部・公益部・生涯教育・会計については総会の内容参照。

6) 事務局体制について（菊池）

現在、下川さんが北日本支部学会やタスクシフト関連等多くの任務をかかえており、1人では負担が大きいのので補佐役がもう1人いれば良いのでは、という提案が出された。事務局の引継ぎに関して、下川さんの場合は1年間前任者に付き覚えていたとのことで、事務局はすぐに引継げる内容ではない。よって今年度中に来期・再来期をやってもらえる事務局長の方を見つけていただき来年1年間一緒に事務局ができれば引継ぎがスムーズに出来るのではないかとと思われる。岩手医大内丸メディカル内に事務局があるが、内丸メディカルは人数が少なく、現在、事務局を含め3名役員を務めているため、この3名以外から事務局を選出するのは困難である。できれば技師数が多数の施設から選出するのが今後のことを考えると望ましい。

7) その他（下川）

令和3年度に日臨技の定時総会の議決権行使の提出をお願いします。回収率により県に入ってくる金額が変わります。50%未満で0円、50から66.7%で一人当たり50円、66.7%超えると一人当たり70円の収入になります。ちなみに昨年は回収率62%でした。

新理事にサイボウズをご確認くださいとのメールを送っています。理事会のお知らせ等が早めに確認することが出来るので注意して見ていただくようよろしくお願いいたします。本来理事会は1年で5回予定なのですが、本年度は北日本支部学会があるため理事会だけでは間に合わないと思うので臨時で開催すると思われます。次回は7月の予定ですが部門長も出席してもらうので人数的に多いのでWeb開催になると思います。

4. 閉会（下川）

以上を持って理事会の議案を終了し15時30分に閉会を宣言した。

令和3年5月29日

代表理事 菊 池 英 岳
出席監事 井 上 幸 男
出席監事 行 森 良 一

臨時常務理事会・監事会 議事録

2021 年 7 月 8 日 web にて

出席：菊池、畠山、下川、櫛桁、川村、行森、井上、高橋

記録：高橋

議題 1：宮本理事の辞任について

- 一般社団法人としての必要な対応
理事に欠員が生じた場合は再登記が必要となる。
後任の理事が新たに選出された場合は臨時総会が必要となる。
以上の事から現理事で宮本理事の担当を引き継ぎ、臨時総会を行わずに再登記とする。
宮本理事の担当業務を引き継ぐ期間は次回改選まで。
宮本理事の担当、生涯教育登録、ホームページの更新、webex 会議室の割り振り
について畠山副会長と高橋で行う。
- 株式会社 people さんとの契約について
契約は完了しているので、ホームページの更新は随時可能。
- webex のホスト権限と部門研修会について
畠山副会長が people さんに確認する。今年度は 100 名同時接続 2 回線の
契約の予定。Webex との契約は people さんを介さずに岩臨技が直接行う。
理事が代理契約し、岩臨技が費用負担となる場合もあり得る。
部門研修会に担当理事がすべて参加するのは負担が大きいのので、開催部門の中でホスト
を担当して貰う事もある。
- 日臨技の生涯教育について
現在申請されている研修会はなさそう。申請には web のみか集合が記載する必要はない。

議題 2：北日本学会について

- 進捗状況の確認
一般演題 6 題、広告 6 社、プログラム集広告 6 社、メーカーセミナーの
応募はない。事前登録は 1 桁。一般演題の募集は 7 月いっぱいまで延長する。
- タスクシフトシンポジウムについて
県内でタスクシフトを行っている日臨技に登録されている 3 施設については
菊池会長が日臨技に施設名を確認する。
- 特別講演・教育講演の抄録について
抄録はホームページに記載する為に必要。プログラム集には記載しない。
文字数・期限については山田プランニングと事務局で協議し決定する。
- 技師の演者は参加登録が必要とし、技師以外の演者、講師の場合はアクセスパスワード
を別に発行し、参加登録を必要としない。
- 気仙ボケー座への委嘱状は菊池会長が直接持参する。

議題3：部門研修会について

□ 部門研修会の開催方針

新型コロナの感染状況から原則 web のみの開催を継続する。

解除については感染状況をみて常務理事会・監事会で決定する。

研修会の開催は岩臨技から各部門へ年間5万円の予算枠がある。また、日臨技への申請20事業では参加者1名あたり500円の助成金が見込まれる。

議題4：検査と健康展について

11月に集合しない、密にならないような方法で開催する予定。

以上、皆様お疲れさまでした。



今回の『つなぐ』は岩手県立宮古病院の工藤駿一朗さんです

“つなぐ”

県立二戸病院の油川舜さんから「つなぐ」を引き継ぎました、県立宮古病院の工藤駿一朗です。油川さんとは山でよく会うとのことですが、自分は決して山大好き人間というわけではありません。

先輩方の「つなぐ」を読んでいると皆さん多種多様な趣味を持っておられるようで羨ましい限りです。自分はこれ！といった趣味をまだ持っていないので最近趣味を探ることが趣味になっています。そんな自分が最近ハマりつつあることは登山とサウナです。どちらもこれまでほとんど経験のなかったものなので、まだまだ手探り段階ですがいい感じで楽しめています。今回は初心者ながら登山とサウナの魅力についてについて書かせていただこうと思います。

初めに登山についてです。学生時代はそれなりに運動をしていたのですが今は全然体力がないので毎回ヒィヒィ言いながら登っています。毎度登っている間はなんでこんなつらいことしているのだろうと思いながら登っているのですが、登りきって山頂からの景色を見るとまた登ろうと思えるくらい達成感が得られます。実は最近天気の良い日に登れておらず山頂から麓が見えていないのですが、ガスガスを曇った辺り一面真っ白の景色もまたよしとします。景色以外にも山頂で食べるご飯は普段の数倍おいしいのでそれも登山の魅力の一つです。下山した後に入る温泉もまた素晴らしいものですね。

登山後の温泉とは直接関係はなかったのですが、二つ目にはまっていることにサウナがあります。サウナには疲労回復や美容効果など様々な効果があると言われており、最近巷でちょっとし

(い わ て)

たブームになっているらしいです。最初は体を温めるだけなら温泉と何が違うのだろうと思っていましたが、よくよく調べてみるとサウナにはある程度決まった王道の入り方というものがありました。個人ごとにアレンジはあるようですが、基本的には温冷交代浴という体を温めて冷やしての繰り返しです。自分はサウナ約10分→水風呂約1分→休憩約10分を1セットにしてこれを3セット繰り返しています。大事なのは休憩時間に何も考えずにぼけーっとしっかり休憩することです。うまく入浴できると最後の休憩のときに心身共に深いリラックス状態になり、「ととのった」となります。「ととのい」は正直よく分かっていないのですが、それを探求することがサウナの楽しみになっています。週末にサウナで「ととのって」仕事の疲れを癒せたら最高ですね。

最後に本文とは全く関係ない夏の写真を載せて終わりにしたいと思います。夏に引き続き冬も中止が決まって残念です。

次回は、県立病院の同期である県立中部病院の千葉美怜さんにつなぎたいと思います。お忙しい中引き受けてくださってありがとうございます。では、よろしくお願いします。



お知らせ

今年度の部門長および地区部門長のみなさんです。また役員は第1回理事会会議録に掲載しています。どうぞよろしくお願いいたします。



	部門名	部門長	担当領域	北部地区部門員	盛岡地区部門員	中部地区部門員	南部地区部門員	三陸地区部門員
I	生物化学 分析部門	山本 将規 (岩手県立大船渡病 院)	生化学 尿・髄液定量 免疫・血清 毒物・薬物関連	福士 紀行 (県立一戸病院)	乙部 美加 (岩手医大附属病院)	佐々木 久臣 (県立中部病院)	山崎 勝登志 (県立磐井病院)	工藤 駿一郎 (県立宮古病院)
	遺伝子 検査部門	小原 丈裕 (岩手医大附属病院)	染色体検査 病原体遺伝子 ヒト体細胞遺伝子 ヒト遺伝子					
II	生理機能 部門	笹野 幸枝 (岩手県立遠野病院)	神経生理 循環・呼吸生理 画像診断学	小澤 由美 (県立二戸病院)	三田 隼士 (盛岡市立病院)	上村 莉那 (予防医学協会県南セ ンター)	佐藤 春子 (地ノ森クリニック)	佐々木 直子 (県立宮古病院)
III	病理・細胞 検査部門	佐藤 千絵 (岩手県立胆沢病院)	病理組織 細胞診	松澤 恵美子 (県立久慈病院)	山内 英寿 (DPR株式会社)	芳賀 久美 (県立遠野病院)	小原 貴恵 (県立磐井病院)	大内 貴子 (県立釜石病院)
	血液検査 部門	内藤 呂美 (岩手県立中央病院)	血球算定 血液機能 血液形態 凝固・線溶	高際 由美子 (国保種市病院)	菅原 江介 (県立中央病院)	八重樫 恵理 (北上済生会病院)	三浦 由美 (県立大東病院)	村上 美月 (県立釜石病院)
	一般検査 部門	畠山 和枝 (岩手医大附属病院)	尿定性・半定量 尿沈渣 髄液検査 体腔液・関節液 糞便・寄生虫	田沼 睦 (県立一戸病院)	川村 理恵子 (岩手医大附属病院)	渡部 敦裕 (県立胆沢病院)	菅原 宏明 (県立千厩病院)	中村 志津子 (せいいてつ記念病院)
IV	感染制御 部門	成田 和也 (岩手医大附属病院)	臨床微生物 感染制御	中塚 康子 (県立久慈病院)	向井 千純 (県立中央病院)	三浦 采香 (県立胆沢病院)	遠藤 昂駿 (岩手病院)	大久保 真樹 (県立宮古病院)
V	移植検査 部門	千葉 由紀 (岩手県立中央病院)	輸血検査 幹細胞治療 輸血製剤管理	阿部 浩和 (県立二戸病院)	矢野 裕美 (盛岡赤十字病院)	伊藤 明徳 (県立胆沢病院)	藤田 ちひろ (県立大船渡病院)	五十嵐 知子 (せいいてつ記念病院)
VI	総合管理 部門	小野寺 奈緒 (岩手医大附属病院)	公衆衛生 生殖医療 臨床病態 医療情報 組織管理 医療機器管理	工藤 翔矢 (県立久慈病院)	阿部 真澄 (盛岡市立病院)	千葉 里子 (奥州病院)	加藤 裕美 (県立千厩病院)	油川 舜 (県立宮古病院)





北日本支部医学検査学会が開催されます



北日本支部医学検査学会が11月1日～11月30日、WEBにて開催されます。開催担当が岩手県ということで準備真最中でして皆様にもお声がかかるかもしれません。日々の業務でご多忙かと思われそうですが、何卒よろしくお願いいたします。

332号
日臨技
in岩手

「メインテーマ」
融和と協調

令和3年度日臨技
北日本支部
医学検査学会
第9回

演題募集期間
6月1日(火)～
7月15日(木)予定

「サブテーマ」
じえねしす じえねらる じえねれーしょん

会期
令和3年11月1日(月)～30日(火)

会場
WEB開催(オンデマンド配信) URL: <http://kitanihon2021iwate.com/>

学会長
行森 良一(岩手医科大学附属内丸メディカルセンター)

実行委員長
畠山 秀樹(公益財団法人 岩手県予防医学協会)

学会事務局
菊池 英岳(岩手県立江刺病院)

岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 中央臨床検査部 下川 波歩
〒020-8505 盛岡市丸の内19-1 TEL.019-654-8510 E-Mail: kaiho@iwateamt.or.jp

QRコード

編纂者
藤倉 由規

監事
藤原 教徳

編纂者
藤倉 由規

監事
藤原 教徳



～編集後記～

新型コロナウイルス感染症の影響で会報「いわて」の発行を見合わせていましたが、約1年振りに再開することとなりました。今年度から会報担当します“”です。本来このような仕事をするタイプではなく至らぬ点が多々あるかと思えます。これまで運とご縁と人柄だけでやってきた二人ですがどうぞよろしくお願いいたします。

11月には北日本支部医学検査学会が開催されます。成功のために会員皆様のご協力お願いいたします。(ふじ)

会報「いわて」第332号 2021.8

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長： 菊池 英岳

事 務 局： 下川 波歩

編集責任者： 藤倉 由規

藤原 教徳

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)613-6111 内線 3699 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp